

## 予算決算委員会総務文教分科会会議録

### 招 集

平成30年7月25日(水)午後1時 議会委員会室

### 出席委員(9名)

(分科会長) 岡 田 啓 介 (副分科会長) 矢田貝 香 織  
安 達 卓 是 稲 田 清 岡 村 英 治 国 頭 靖  
田 村 謙 介 三 嶋 秀 文 安 田 篤

### 説明のため出席した者

伊澤副市長

浦林教育長

#### 【総務部】 辻部長

武田防災安全監

[秘書広報課] 土井課長

[総務管財課] 高眞課長

[防災安全課] 池口危機管理室長 三木主査 加賀主任

[調査課] 永瀬課長 東森行財政調査係長 野津主任

[職員課] 松田課長 矢野人事係長 橋本研修厚生係長

[財政課] 下関課長 長谷川総括主計員 頼田主計員

[契約検査課] 木下課長

#### 【総合政策部】 大江部長

黒見人権政策監

[総合政策課] 八幡課長 倉本まちづくり戦略室長 池口広域行政推進室長

[都市創造課] 若林課長 田仲交通政策室長 足立都市政策係長 岡村主幹

[情報政策課] 石上課長

[地域振興課] 塚田課長

[男女共同参画推進課] 的早課長

[人権政策課] 河田人権啓発係長 景井同和対策係長

#### 【淀江振興本部】 高橋本部長

[淀江振興課] 橋井課長

[地域生活課] 宮松課長

#### 【教育委員会事務局】 松下局長

[教育総務課] 松浦教育企画室長 木村学校管理係長 生田主幹 山花主幹

[学校教育課] 金川課長 松本学務係長 西村指導係長 竹本人権教育係長 山下主幹

[生涯学習課] 片岡課長 安田生涯学習係長

[学校給食課] 山中課長 野口給食係長

### 出席した事務局職員

先灘局長 長谷川次長 佐藤主任

### 傍聴者

石橋議員 伊藤議員 今城議員 岩崎議員 遠藤議員 奥岩議員 尾沢議員  
門脇議員 土光議員 戸田議員 西川議員 又野議員 渡辺議員

報道機関 2 社 一般 2 人

## 審査事件

議案第 5 8 号 専決処分について（平成 3 0 年度米子市住宅資金貸付事業特別会計補正予算（補正第 1 回））

議案第 6 6 号 平成 3 0 年度米子市一般会計補正予算（補正第 1 回）のうち当分科会所管部分

~~~~~

## 午後 1 時 0 0 分 開会

○岡田分科会長 それでは、ただいまより予算決算委員会総務文教分科会を開会いたします。

本日は、23日の本会議で予算決算委員会に付託された議案のうち、当分科会の審査担当とされました議案2件について審査いたします。

初めに、議案第66号、平成30年度米子市一般会計補正予算（補正第1回）のうち総務部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

下関財政課長。

○下関財政課長 それでは、議案第66号、平成30年度米子市一般会計補正予算のうち本分科会に付託されました総務部所管の補正予算につきまして御説明をさせていただきます。

それでは、歳出予算の事業の概要というものを事前にお配りしておりますけれども、こちらのほうで説明をさせていただきます。まず、1ページ目の上の段、自主防災組織育成事業といたしまして、180万円を計上いたしております。これは自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業に採択されたことから、除雪機を導入する自主防災組織に助成を行おうとするものでございます。

続きまして、同じく下の段、無線放送施設整備費用といたしまして1億4,800万円を計上いたしております。これは防災行政無線設備につきましてデジタル化を行おうとするものでございまして、平成29年度12月補正に予算措置を行い、繰り越しによる事業を予定しておりましたが、採択の内示が見送られたため、本年度の採択を目指し精力的に要望活動を行った結果、4月に事業採択の内示があったことから改めて配分に応じて予算措置を行おうとするものでございます。

続きまして、6ページをお開きください。6ページの下段、非常備消防費といたしまして50万円を計上いたしております。これは自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を活用し、米子市消防団女性分団が開催する各種講習会等で使用する拡声機などの機材を購入するものでございます。説明は以上でございます。

○岡田分科会長 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの意見を求めます。

安達委員。

○安達委員 行政無線のことですが、補正に上げられたということは財源がついたということなんです、中身のことで言いますと、境港に近い弓浜のほうは割と早くこの事業を

手がけられたと思うんですが、新しいデジタル化された放送施設ですよと和田の町内で設置されたんですけども、非常に聞きづらいということを何回も自治会長会議で聞かされたんですね。その反省が盛り込まれているだろうなと思ってます。何があるかという、デジタル化によって反応が非常によくなってしまって、ちょっとした音を聞き込んで、取り込んでしまったりすることで、一時的に音が住民にとって聞きづらい環境が逆にふえたことがあったんで、それは今回のこの事業ではないと思うんですけども、こういう事例は聞いておられますか、施工する前に、積算の中で。

○岡田分科会長 武田防災安全監。

○武田防災安全監 デジタル化に当たっては、デジタル化自体がどうのということも当然あるんですけど、設置する場所とか風向きとか環境とかによってやっぱり変わるということで、デジタル化に合わせて出力等の調整をすることによって聞き取り方が改善されることもありますので、個別にいろいろ情報をいただきながら対応しているところでございます。

○岡田分科会長 安達委員。

○安達委員 今、防災監のほうから答えてもらったんですが、随分やりとりをしたんで、崎津とか大篠津はわかりませんが、和田では設置しましたけれど、どうですかと自治会長に聞いたら、いや、かえって聞きづらいわとか、さっき言いましたように反響音が割とよ過ぎてちょっと声が高くなって聞こえたりすると。何を放送したの、改善したんじゃないのという部分で聞き戻されたような話が随分あったんで、それをぜひ改良を加えた分、施行工事でやっていただきたいという要望です。お願いします。

○岡田分科会長 ほかに。ほかの委員の方はありませんか。

〔「なし」と声あり〕

○岡田分科会長 では、ないようですので、予算決算委員会総務文教分科会を暫時休憩いたします。

午後 1 時 0 6 分 休憩

午後 2 時 1 1 分 再開

○岡田分科会長 予算決算委員会総務文教分科会を再開いたします。

議案第 5 8 号、専決処分について（平成 3 0 年度米子市住宅資金貸付事業特別会計補正予算（補正第 1 回））を議題といたします。

当局の説明を求めます。

大江総合政策部長。

○大江総合政策部長 議案第 5 8 号は、専決処分、平成 3 0 年度米子市住宅資金貸付事業特別会計補正予算でございます。

これは平成 2 9 年度と同じ会計、この住宅資金貸付事業特別会計において、決算で収支不足が発生することが見込まれます。そのため、地方自治法施行令の規定に基づきまして、平成 3 0 年度と同じ予算から不足部分を繰り上げて充用するための専決処分でございます。

この地方自治法施行令 1 6 6 条の 2 の中で、会計年度経過後におきまして歳入が歳出に不足するときは翌年度の歳入を繰り上げてこれに充てることことができる。この場合においては、そのために必要な額を翌年度の歳入歳出予算に編入しなければならないという規定がございます。先ほど申しましたように、2 9 年度のこの特会が収入不足が見込まれますので、その部分について 3 0 年度と同じものから上げるために今回、補正予算を専決処分さ

せていただきました。

先ほど申しましたように、会計年度経過後ですから、4月1日より後で、なおかつ出納閉鎖になる5月31日までの間にすることが望ましいというふうに行行政実例等が出ておまして、その間には議会がございませんので、5月31日をもって専決処分をさせていただいたものでございます。金額等詳細については、人権政策監のほうから説明させます。

**○岡田分科会長** 黒見人権政策監。

**○黒見人権政策監** それでは、議案第58号、平成30年度米子市住宅資金貸付事業特別会計補正予算（補正第1回）に係る専決処分について御説明いたします。

それでは、30年度の米子市補正予算1ページをごらんいただけますでしょうか。第1条でございます。歳入歳出それぞれ1億7,500万を追加し、補正の予算の総額を1億7,610万9,000円としております。詳しい説明は、6ページから7ページをごらんいただけますでしょうか。それでは、6ページに歳出、7ページに歳入のほうを書いております。先ほど部長が申し上げましたとおり、平成29年度決算におきまして歳入不足を補填するため、平成30年度の住宅資金貸付金元利収入を財源といたしまして1億7,500万を繰り上げ充用するもので、平成30年5月31日付で専決処分したものでございます。

繰り上げ充用の要因となっております住宅資金の滞納につきましては、借り受け人のほとんどの方はもう既に完納になっておられますが、滞納者のお一人お一人の生活実情が異なるということから戸別訪問を実施しておまして、生活実態に応じました丁寧な納付指導を今も行っておりまして、例えば分割納付者の納付が途切れたりしますと連絡をとりながら生活状況を確認したり、あるいは生活相談に乗るなどして納付につなげていくこととしております。償還金は回収することを原則としておりますので、米子市の債権管理条例に基づきました債権管理に適切に努めますとともに、法的措置の可能性を見きわめ、滞納者の方の生活実態をしっかりと把握しながら滞納額の減少に努めてまいることとしております。説明は以上でございます。

**○岡田分科会長** 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの御意見を求めます。ないですか。

〔「なし」の声あり〕

**○岡田分科会長** それでは、予算決算委員会総務文教分科会を暫時休憩いたします。

**午後2時16分 休憩**

**午後2時36分 再開**

**○岡田分科会長** 予算決算委員会総務文教分科会を再開いたします。

議案第66号、平成30年度米子市一般会計補正予算（補正第1回）のうち教育委員会所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

松浦教育企画室長。

**○松浦教育総務課教育企画室長** 議案第66号、平成30年度米子市一般会計補正予算（補正第1回）につきまして、教育委員会所管部分について説明をさせていただきます。ホームページ公開の歳出予算の事業の概要で御説明いたします。

それでは、7ページをお開きください。上の段、小学校ブロック塀緊急対策事業として4,100万円を計上しております。また、下の段、中学校ブロック塀緊急対策事業として1,600万円を計上しております。これらは大阪北部地震でのブロック塀の事案を受けま

して実施しました緊急点検の結果、耐震対策に不備があるものや劣化や損傷を確認されたことからブロック塀の撤去とフェンスの設置を行って児童生徒の安全・安心な教育環境を早急に確保しようとするものでございます。

次に、8ページをお開きください。上の段、幼保小連携推進モデル事業として30万円を計上しております。これは幼稚園、保育園、認定こども園の園児が小学校に就学してから環境変化にスムーズに対応できるよう園児の段階から小学校と連携し、困り事の情報共有や交流を行う事業などの取り組みについて就将小学校区をモデル地区として実施しようとするものでございます。なお、この時期に補正をお願いいたしますのは、当初予算編成後に県の事業決定がされたためでございます。説明は以上でございます。

**○岡田分科会長** 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの意見を求めます。

岡村委員。

**○岡村委員** 小中学校のブロック塀の問題ですけれども、緊急性が高いということで書いてあるわけですが、具体的にはいつごろをめどにこういった整備というのは完了する予定なんですか。

**○岡田分科会長** 松下教育委員会事務局長。

**○松下教育委員会事務局長** まずプールにつきましては、危険性が特に、大阪で起こった事故もプールに面した塀だったということでございますので、プールにつきましては既に予備費等でブロック塀の撤去と仮囲いまで10校中、今8校終わっております。それで補正予算でお願いしたいのが、その後に目隠しフェンスですとかそういったものを補正で認めていただいた後に設置をしようというふうに考えておまして、8月中ぐらいにはフェンスも設置ができるんじゃないかというふうなことで今、予定をしております。

**○岡田分科会長** ほかの委員の方。

安達委員。

**○安達委員** さっきの説明の中で予備費というところを言われたんですが、予備費の中身をもう少し具体的に言ってもらえませんか。それと、できるかどうかはわかりませんが、僕は財政あんまり詳しくないし、強くないですが、後で財源というのは補填できるとかは、見込み的なものがあるかどうか、今の時点で教えてください。

**○岡田分科会長** 松下教育委員会事務局長。

**○松下教育委員会事務局長** 財源の補填からでございますけれども、今のところ国・県の補助というところがございませんので、今のところではちょっと見込めないという状況でございます。

それと予備費につきましては、予備費の幾ら投入というのは、今後、事業が完了した後に幾ら投入をするかというような話をしておりますので、現時点では予備費を使うということではなくて、教育総務課の中の予算で、例えば予算残というのが、契約後の予算残というところも少しございますので、そういったものとか予備費も含めてブロック塀の撤去だけは先にやっているというような状況です。

**○岡田分科会長** 安達委員。

**○安達委員** 役所的に言ったら、予算の先食いとかって、いわゆる需用費を大きく年間持つって、予定よりも時期をちょっと別にしといて、今回の修繕に先食いさせるとかという言い方がいいのかどうかはわかりませんが、いわゆる経費のシステムによってそのよう

な扱いでしようとしてるのかなと思って聞いたんですけど、違いますか。

○岡田分科会長 伊澤副市長。

○伊澤副市長 普通…（聞き取れず）…ではなくて、ちょっと説明がまずかったかもしれませんが。予備費はおおむね1,000万円、全体で3,000万の予備費を入れておりますが、そのうち全部使うわけにはいきませんので、一応1,000万の規模で予備費を執行させていただきたいと思っています。ただ、実は1,000万だけでは足りませんし、それから今回補正をお願いしてるものもございます。そして、実は今、担当がちょっと言いましたのは、プールを急いでやろうとしておりますけど、プールだけでちょっと1,000万では少し足りないのかもしれないなというところは、まさに今、安達委員がおっしゃった既定予算、これ今松下局長が言いましたけど、既定の工事費等いわゆる入札執行残等があって、予算の枠があるのがありますので、そういったようなもの、災害ですので弾力的に流用させていただいて、当面は早期の発注、早期の竣工を今目指してやっているとあります。

したがって、最終的にかかった経費をきれいに予算上、整理する作業は少し後でやらせていただいた結果、予備費の執行はきっちり1,000万じゃなくて、もう少し少なくて済むと思いますね。それは最終的な精算はさせていただきますが、今現在の予備費は1,000万を執行させていただきたいということで、当面の早期発注にこぎつけたいということで御理解いただければと思います。

○岡田分科会長 ほかにございませんでしょうか。

〔「なし」と声あり〕

○岡田分科会長 予算決算委員会総務文教分科会を暫時休憩いたします。

午後2時44分 休憩

午後2時46分 再開

○岡田分科会長 それでは、予算決算委員会総務文教分科会を再開いたします。

分科会長報告のための意見の取りまとめを行います。

御意見がありましたら発言をお願いいたします。

〔「なし」と声あり〕

○岡田分科会長 それでは、特になかった旨を報告させていただきます。よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と声あり〕

○岡田分科会長 以上で予算決算委員会総務文教分科会を閉会いたします。

午後2時46分 閉会

米子市議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

予算決算委員会総務文教分科会長 岡田啓介